

AEL ネット環境学習
スタンプラリーの対象イベント

令和5年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会主催

夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー

日 時：令和5年7月27日（木）
午前10時～午後4時

集合場所：金山市民会館前

参加者数：20名

（一社）愛知県産業資源循環協会では、夏休みを利用して親子ペアによる環境・資源リサイクル体験ツアーを開催しました。

会員各社のご協力を得て、廃棄物リサイクル施設等を見学し、循環型社会形成に向けた各社の取組を紹介します。

現在、世界全体で取り組むべき環境問題、及びSDGsへのゴール達成は、特にお子様がこれから社会生活を営む上で深く関わってきます。

体験ツアーを通じて、参加者の方が身近な問題として多くの事を感じ取り、未来に向けて今すぐにもできる事を親子で話し合っていただけ、貴重な夏休みの一日としてお手伝いをさせていただきました。

◆学習 I

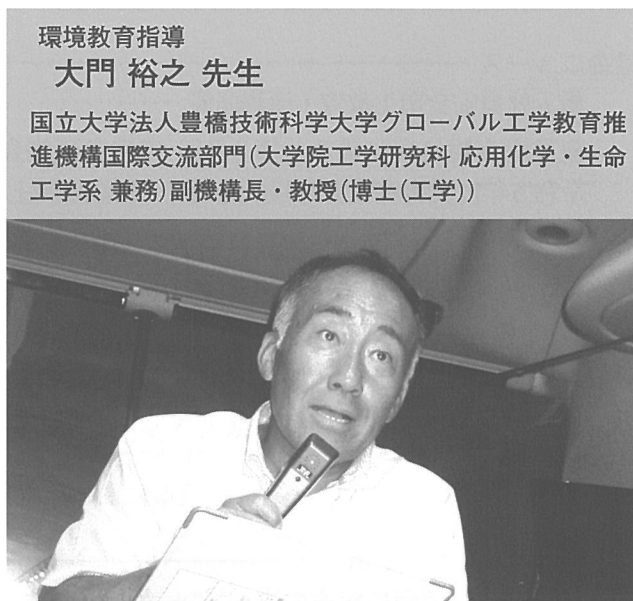
グリーンサイクル（株）

名古屋市港区昭和町13

- ・家電リサイクル法に基づく廃家電解体リサイクル施設を見学

グリーンサイクル（株）は平成10年に設立され、「地球環境保全のため循環型社会の形成に貢献し、地域社会及び将来の日本を守り続ける一流のリサイクルプラントになり、長く存続する会社であり続けること」を企業理念に掲げ、中間処理を行っています。

また、設立二年目に家電リサイクルプラントが建てられ、平成13年には家電4品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機）の受け入れがスタートしました。



体験ツアーで子供向けの環境教育を担当される豊橋技科大の大門先生

ン、冷蔵庫、洗濯機）の受け入れがスタートしました。

同社に到着後、担当者より会社概要、廃家電の処理工程等についてプレゼンが行われ、参加者の皆様は気になった箇所や要点などを配布資料に書き込みました。

次に、担当者に案内され管内を見学しました。展示資料は、家電リサイクルで処理される家電の各部品やリサイクルされた成果物等です。

普段身近な家電製品が実際にどのようにリサイクルされているのか、初めて目にすることもあり、親子ともども興味深く見学されていました。



施設内で担当者から説明を受ける参加者の皆様



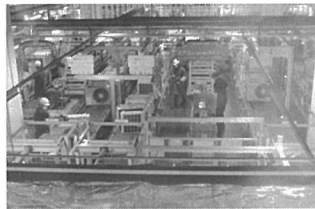
モニター画面の説明



展示物の説明



展示物の説明



工場内の様子



グリーンサイクル（株）にて参加者、関係者の記念写真

◆学習Ⅱ

すずけん
(株) 鈴鍵 下山パークパーク

豊田市和合町田螺池 245-1

- ・バーベキュー体験（昼食）
- ・ウッドチップリサイクルシステムや「環境との共生」をテーマにビオトープ等の自然を体験
- ・ブルーベリー摘み取り体験

午後は(株)鈴鍵の下山パークパークにてバーベキューが行われました。自然に囲まれての食事は、誰もがいつもより食欲が進み、どのテーブルも満腹の笑顔が溢れていました。

食後はブルーベリー農園で、多くの品種が育てられているブルーベリーを食べ比べし、どのように育てているのか知ることができました。

施設内の見学は、同社の丹羽庸介氏の案内でウッドチップリサイクルシステムの説明を受け、破碎中のウッドチップを見学しました。生成直後のウッドチップは蒸気が発生し、初めて見る子ども達は興味津々に触り、それぞれに感想を話していました。

その後、「生き物が自然な状態で暮らせる空間」と言われるビオトープ公園に行き、散策コースの観察ポイントごとに担当者から説明を聞きました。

同社のビオトープは令和4年度「あいち生物多様

性優良認証企業」の認証を受けました。

約6,000㎡のビオトープを整備して自生種の保護、生物保護を行い、平成14年の開園以来、一般向けの自然体験学習会を継続的に実施し、子ども達の環境教育の場として活用されています。

平成20年には第1回目の「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」が開催され、同社のビオトープにて循環型社会形成とはどのようなことに配慮が必要なのか、見て、触れて、体験していただくアカデミックな取組が行われました。

訪れたご家族の方には、本来の森の姿の中で過ごしていただき、これからの環境についてお子様と一緒に考えていただける、生きた教材といえます。

体験ツアーは予定のコースを周り、帰路につきました。バスの中では大門先生より、一日のまとめ等のお話があり、夏休みの楽しい思い出として心に刻まれました。



ビオトープを散策し担当者から説明を受ける参加者の皆様



バーベキューを楽しむ参加者



大門先生からブルーベリーの説明を受ける参加者



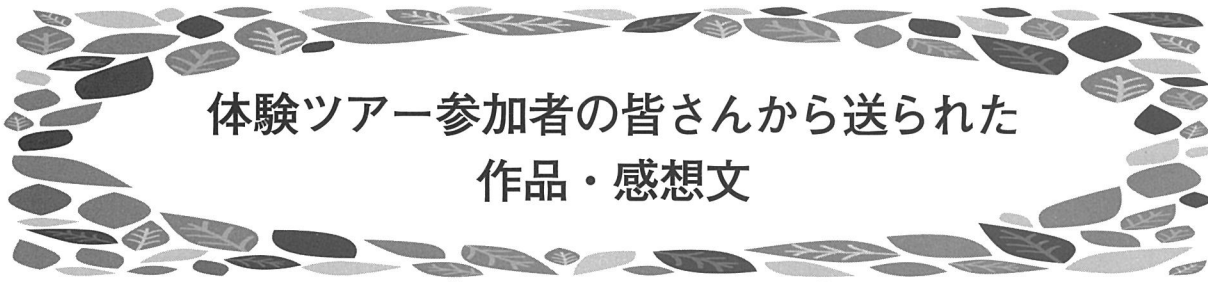
ウッドチップシステムを説明



ウッドチップの作成過程



「下山パークパーク」にて参加者、関係者の記念写真



体験ツアー参加者の皆さんから送られた 作品・感想文

臼田 彩乃さん (小6)

柴田 愛彩さん (小6)

夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーに行きました。臼田 彩乃

お母さんに、リサイクルバスツアーに行くことになった。と言われて、何をされるかわからないので、あまり楽しみにしていませんでした。

当日、朝からものすごく暑い日でした。最初は、グリーンサイクルさんの工場に行きました。

初めは、リサイクル工場と聞いて、あまりきれいではない所だと思、たけれど実際見るととてもきれいな所だ。たので、びっくりしました。

リサイクル工場に入ると、家電を捨てるときは、捨てる物も指定引取場所まで持、てきて、処分します。テレビのように法律でリサイクルすることや、家電リサイクル法とてい、い、家電リサイクル法でリサイクルできるのは、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫の、

四つです。グリーンサイクルさんの工場に入ると、いろいろ、話を聞いて、家電の中には、鉄などのぞい、がた、くさんはい、ていて、それは小さいので、機械でつか、て、とりま、す。そ、ご、い、は、よ、て、やりか、た、が、ち、が、う、の、で、ひ、く、り、し、ま、し、た。

パーベキューのとき、雨が降、て、ブルーベ、リー、と、れ、る、か、不、安、だ、た、け、無、事、に、晴、れ、た、の、で、よ、か、た、で、す。

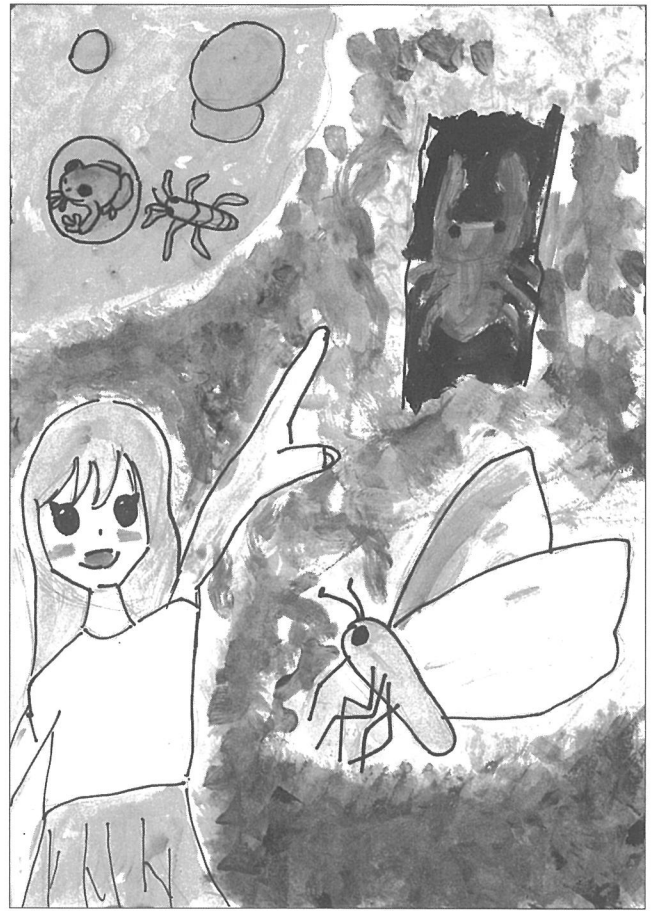
パーベキューでは、お月や野菜がたくさん入、て、い、て、お、い、し、か、た、で、す。

ブルーベリーの収穫では、木によ、て、味、が、ち、が、て、楽、し、か、た、で、す。

次に、ウッドチップは、手間も時間もか、け、て、作、て、い、た、の、で、お、ご、ろ、ま、し、た。

また、木が、た、く、さん、熱、さ、も、て、い、て、こ、ん、な、に、熱、い、入、を、と、思、い、ま、し、た。

最後に、ビオトープにつれ、て、も、ら、て、て、と、も、見、持、ち、が、よ、か、た、で、す。こ、ん、な、所、が、た、



お母さんからのメッセージ

「ビオトープが印象的だったようでビオトープの絵です。ためになる事ばかりでした。帰ってきてから、みんなにリサイクルされるんだよと話していました。ありがとうございました。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、作品を送っていただきました。

くさんあるといいなと思、い、ま、し、た。

バスの中でも、とても楽し、か、た、で、す。

今回のバスツアーで、ゴミは、ま、ち、ん、と、分、別、し、て、出、す、こ、と、を、自、然、と、守、り、て、い、く、こ、と、を、大、切、に、し、て、い、ま、し、た、と、思、い、ま、す。

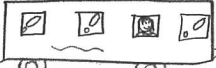


多数作品をお送りいただきありがとうございました！

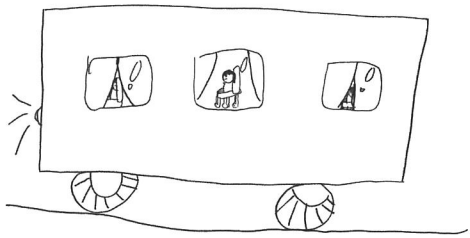


大高 仁菜 さん (小5)

楽しかったバスツアー
 私がバスツアーで心にのこったことが2つ
 あります。1つ目は、工場見学です。
 なぜなら初めてエアコンなどを解体する所を
 見れたからです。2つ目はピクトフに行けたことで
 色々な虫が見れてうれしかったです。
 バスツアーがまた行きたいです。

 大高 仁菜

大高 羽菜 さん (小2)


 思いでのバスツアー
 わたしの思いでは、エ
 ンジン見学です。
 はじめて、リサイクルして
 いるのを見てすごいなと思っ
 ました。来年も行きたいです。大高 羽菜

近藤 大翔 さん (小6)

お母さんからのメッセージ (一部掲載)

「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアーで

は大変お世話になりました。今回は小六の息子と参加しましたが、中学生の娘と参加した回を含めると、親の私は幸運にも3回も参加できました。大門先生のお話しはいつも聞きやすく、バスの中でも楽しく過ごせました。」

保護者の方から上記のメッセージと共に、絵日記の一部を送っていただきました。

リサイクル! 年間 90万円

鉄屑	プラ
アルミ	金銅
フロン	ガラス



ぼくは、リサイクル工場見
 学で色々な事を教えても
 らいました。この絵日記はその
 中でも特に心に残った事を
 書きたいと思います。1つ目は
 グリーンサイクルが一年間に
 約90万台のリサイクルをしてい
 る所です。一つの工場でそんな
 に多くリサイクルしてるから世
 界ではどのくらいになるのだろ
 うと思いましたが、「これからはも
 と家電を大切にしていきたいと
 思います。」2つ目はフロンです。

6年・近藤 大翔
 8月 17日 木 晴れ

(2)



フロンは、エアコンなどを造る時
 に使う人体には無害ですが環
 境には有害な物質です。物を造
 る時には環境に悪い物は何も
 出ないのだと思ってるので、くり
 返してグリーンサイクルを
 解体する時にフロンを無害に
 してくれているので環境にやさしく
 解体することができるとです。
 最後に、リサイクル工場の人たち
 色々知れました、ありがとうございました。

6年・近藤 大翔
 8月 17日 木 晴れ

